

入間市立図書館との相互利用が始まりました

青梅市図書館では、利用者サービスのさらなる向上を図るため、10月1日から入間市立図書館との相互利用を開始しました。

相互利用協定書の調印式を行いました



青梅市と入間市の図書館相互利用が10月1日から始まることに伴い、8月25日(火)に青梅市役所で「青梅市と入間市における図書館相互利用に関する協定書調印式」を行いました。

調印式には、青梅市から竹内市長、岡田教育長、藤野教育部長、塚本中央図書館長、入間市からは田中市長、西澤教育長、福田生涯学習部長、宮臣市立図書館長が出席され、両市長が協定書に署名した後、田中入間市長からは「さらに両市の市民が繋がっていくことを願っている。」と、竹内青梅市長からは「読書の機会が増えることは素晴らしい。今後両市の市民間の交流により、賑わいの創出や街の活性化が図られることに努力したい。」と述べられました。

入間市の図書館・分館・配本所をご利用ください

青梅市民の方は、入間市の図書館・分館・配本所で図書利用券(利用者カード)を作り、本や雑誌、CD、DVDなどを借りることができますようになりました。

ただし、予約やリクエストはできません。ご利用になる図書館・分館・配本所に在架する資料の貸出のみとなります。

入間市の図書館・分館・配本所

- 本館 入間市向陽台1-1-7
電話 04-2964-2415
- 西武分館 入間市仏子1084-12
電話 04-2932-2411
- 金子分館 入間市寺竹535-1
電話 04-2936-1811
- 藤沢分館 入間市下藤沢846-1
電話 04-2966-8080
- 宮寺配本所
入間市宮寺2405-1
電話 04-2934-4466

入間市立図書館ホームページ

- 入間市立図書館ホームページ
<http://lib.city.iruma.saitama.jp/>
施設案内や図書館カレンダーなどをご覧いただけます。

戦後70年企画展 「戦争について考える」「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展」



太平洋戦争の終結から70年を迎えました。戦争を知らない世代が増えていく中、中央図書館では戦争の悲惨さと平和の尊さについて考えるため、企画展を行いました。

【3階展示コーナー】

3階では7月1日～8月30日、「戦争について考える」というテーマで、関連する資料を展示しました。また青梅市郷土博物館所蔵の軍隊手帳や鉄かぶと、防空ずきん、千人針など、戦時中の様子がうかがえる品々も展示しました。



【多目的室展示】

多目的室では7月17日～26日、広島平和記念資料館から原爆写真を借りて「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展」を開催しました。また戦争に関するドキュメンタリーやアニメのDVDも上映しました。期間中1422人もの多くの方が来場されました。

会場には折鶴コーナーを設け、子どもから大人の方まで、平和を願ってつるを折って頂きました。つるは千羽鶴にして、広島平和文化センターへ送り、「原爆の子の像」へ飾って頂きました。多くの方の平和への願いが届けられたと思います。



多目的室展示最終日には、青梅市遺族会会長、持田幸男氏の、紙芝居を使った戦争についてのお話や、朗読グループ・リーダーズあおうめによる「茨木のり子集～言の葉～」の詩の朗読会を行いました。参加された方々は、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



資料や写真、講演会などを通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて、考えるきっかけになったのではないかと思います。

一日図書館長を実施しました

10月17日（土）に小学生が一日図書館長になって、図書館の仕事を体験するイベントを行いました。

青梅市では、子どもの読書活動推進事業として、学校との連携に取り組んでいます。今回は平成27・28年度の学校連携モデル校である若草小学校から4年生4名の児童が一日図書館長として選出されました。8時30分の朝礼に参加し、その後教育部長より一日図書館長の委嘱状を受け取りました。



館長の仕事や図書館についての説明を受け、図書館内を見学し終わったら、いよいよ開館です。図書館の入口で、来館された方に大きな声で挨拶を行いました。

図書館の仕事は様々です。カウンターに立ったり、本を棚に納めたり、CDの汚れをふき取ったり、たくさんの仕事を体験しました。

4人とも、とても上手にそれぞれの仕事をこなすことが出来ました。

感想を聞くと、「これまで知らなかった仕事もたくさんあったけど楽しくできました。」などと笑顔で話してくれました。



対面朗読を利用してみませんか？

～音訳者による読み聞かせ～

ハンディキャップサービスの一環として、市内在住の視覚障害者の方が希望される図書館にある本や新聞、お手持ちの資料などを、対面で朗読し、聞いていただくサービスを行っています。朗読は図書館協力者が行います。

- ・利用日時 水曜日から日曜日までの午前10時30分から午後5時まで。（1日当たり2時間まで）
※祝日・休館日を除く
- ・場 所 中央図書館対面朗読室（2階）
- ・費 用 無料
- ・利用方法
 - ▽予約が必要です。利用希望日の1か月前から1週間前までに電話または、直接窓口でお申し込みください。
 - ▽1組3回分の予約ができます。
 - ▽予約の際、朗読を希望する本のタイトルなどをお伺いします。

※本の内容や準備状況などで、ご希望にそえない場合もありますので、ご了承下さい。

・問 合 せ 電話 22-6543

他にも、郵送サービスやデージー図書、点字図書などのハンディキャップサービスを行っていますので、是非ご利用下さい。





わたしのおすすめ本2015



8月19日から9月27日までご応募いただきました、みなさんのおすすめ本を紹介するひと言を、現在市内図書館にて展示しております。ここではご応募いただいた一言を数点ご紹介します。気になった作品はぜひ読んでみてください。

また、おすすめ本のオリジナルポップは12月20日まで募集しています。ぜひご応募ください。

青い城／L.M.モンゴメリ著

「赤毛のアン」の著者L.M.モンゴメリの「赤毛のアン」以外の作品、ニューモンゴメリブックスシリーズの一冊です。このシリーズはどれも素敵なお話ですが、私はこの本がお気に入りです（女性・50代）

浜村渚の計算ノート／青柳碧人著

数学がらみの様々な事件を女子中学生が解決していく推理小説ですが、女子中学生による解説がわかりやすく、何より面白いので、数学が苦手な方にも読んでいただきたい物語です（男性・10代）

ぼくはうちゅうじん／はたこうしろう絵・中川ひろたか文

星がとてもきれいです。みんなもよんでね。3.4年生向けだよ（男性・0～9歳）

世界一すてきなおにいさん！？（私のママは魔女シリーズ）／藤真知子著

わたしにもせかい一すてきなおにいさんがいたらいいのにな。わたしにはおとうとがいるからめんどろをみるのも大へんです。だからひみつのおにいさんがいたら楽しそう！？でもお兄さんがいたらどうなっちゃうんだろう（女性・0～9歳）

壁にぶつかったら僕は漱石を読む／齋藤孝著

来年は漱石没後100年。昔も今も悩みは同じ？もう一度作品を読んでみたら何か発見があるかもしれません（女性・40代）

人師は遣い難し／森繁久弥著

人はこうありたいと思いました。文章が上手な方だと思いました（男性・60代）

相撲部屋ちゃんこ百景／佐藤祥子著

お相撲さんの食事といえば「ちゃんこ」ということを多くの人が知っていると思います。各部屋ごとに伝統の味があり、若手のころは「ちゃんこ番」として厨房でちゃんこの仕込みをしていたことを初めて知りました。親方と力士の逸話は必見です。ちゃんこのレシピも紹介されていて、読んでいるとおなかがグーッとになってしまいそうです。（女性・30代）

かんたん かわいい たのしい ラッピング レッスンBOOK／包むファクトリー著

プレゼント用の箱の包み方、リボンのかけ方、なかなかうまくできないですが、この本でちょっとしたコツがつかめるかも？！（女性・50代）